ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

チッパーシュレッダ

CSE81-DC

⚠ 注 意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

新ダイワ工業株式会社

はじめに

このたびは、新ダイワのチッパーシュレッダをお買上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。
  本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
  なお、搭載エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書を合わせてお読みください。
- 本機の取り扱いは、この取扱説明書及び別冊のエンジン取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いが出来る人が行ってください。
- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■ 用途　：　樹木・野菜茎など、植物専用の破砕機です。

■ この取扱説明書は、注意事項のランクを下記のように区分しています。

⚠ 警告：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

⚠ 注意：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性のある場合、および、物的損害が発生する可能性がある場合。

・注意事項：安全のための具体的内容、および本機の保護と本機の性能を十分に発揮させるための注意。

- 注意事項に記載した内容も、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。
  いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目　次

（頁）

1．	安全上の注意	1
2．	仕様	3
3．	各部の名称とはたらき	4
4．	シール添付位置	5
5．	運転操作	6
	5－1　運転準備	6
	5－2　運転	6
	5－3　粉砕作業	12
	5－4　過負荷によってエンジンが停止したとき	14
6．	各部の調節・操作	15
	6－1　ワイヤーの調節	15
	6－2　エンジン	17
7．	整備・点検・清掃	17
	7－1　清掃	18
	7－2　注油	18
	7－3　Ｖベルトの点検	19
	7－4　チェンの点検	20
	7－5　ゴムクローラの点検	21
8．	保守	23
9．	長期保管	23
10．	こんなトラブルが起きたら	24

1．　安全上の注意

⚠ 警告：走行時の安全

● 排気ガス中毒に注意すること
・エンジンの排気ガスには、有害な成分が含まれています。
室内、トンネルなどの換気の悪い所では、運転しないでください。

⚠ 警告：作業時の安全

● 回転刃物に注意すること
・チッパーホッパーに木材を押し込む時、ガードより奥に手を入れないでください。
・運転中は、排出口に手や足を近づけないでください。

● 巻込まれに注意すること。
・シュレッダホッパーに剪定枝葉を投入する時、送りローラーに手を近づけないでください。
・網手袋（軍手）など、引っ掛かりやすいものを着用しないでください。
・運転中は、駆動ベルトに手や足を近づけないでください。

⚠ 注意：走行時の安全

● 走行時に注意すること
・急発進をしないでください。衝突の危険がありますので、周囲の安全を確認して低速で発進してください。
・坂道や凸凹、カーブの多い道路では高速運転をしないでください。転倒したりして大変危険です。
・やわらかい路面・凸凹の路面での走行は、本機の姿勢が大きく変化したり、ハンドルが跳ね上げられたりしますので注意してください。
・走行時はハンドルから手を離さないでください。
・後進は足元に注意し、転倒したり、本機にはさまれたりしないように後方をよく確認し、低速で運転してください。
・本機に乗って走行、および作業をしないでください。
・高速での旋回（特にアスファルト等の摩擦係数の高い路面）は危険です。低速で旋回するようにしてください。

● トラックなどへの積み降ろし時に注意すること
・平坦で安全な場所でトラックなどが移動しないように、エンジンを止めサイドブレーキ及び車止めをしてから行ってください。
・トラック荷台への積み込みは前進で、積み降ろしは後進でサイドクラッチレバーを使わず低速運転で行ってください。
・本機を吊り上げて積み降ろしする場合は、ハンドルで吊り上げると、ハンドルが外れて落下することがありますので、本機を吊り上げるときは、必ず吊り金具を使用してください。
・積載積込時点で必ず本機のブレーキをかけてください。
・積込用のあゆみ板は、積載荷重が0.5ｔ以上で、本機の傾斜が15°以下となる長さ（荷台の高さの４倍以上）で幅30cm以上のものを使用してください。

⚠ 注意：作業前の安全

● 作業の前に注意すること
・破砕作業は必ず平坦な場所で行ってください。
・本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、ブレーキを必ずかけてください。
・排出口の方向は人や動物に向けないでください。
・排出口をのぞいたり、近寄ったりしないでください。破砕片が飛んで傷害事故になることがあります。

⚠ 警告：作業中の安全

● 作業時に注意すること
・走行しながらの作業は危険ですので、絶対にしないでください。
・作業中は破砕片が飛散します。目を守るために保護メガネを着用してください。また、作業者以外の人や動物を作業領域に近づけないでください。
・停止中、作業中、機械から離れるときは本機を安定した場所に置き、エンジンを停止し、ブレーキをかけてください。
・運転中に本機についているカバー類を外さないでください。カバーを外して運転すると回転部が体に触れたり、巻き込まれて傷害事故につながります。
・カバーが変形したりシールがはがれたときは、必ず交換してください。

⚠ 注意：整備作業の安全

● 整備作業時に注意すること
・本機の点検・整備・掃除をするときには、必ずエンジンを停止してから行ってください。回転部に巻き込まれて傷害事故につながります。
・刃物の点検や研磨・交換は厚手の皮手袋を着用して行ってください。刃物に手が触れて傷害事故につながることがあります。

⚠ 注意：その他安全上の基本的事項

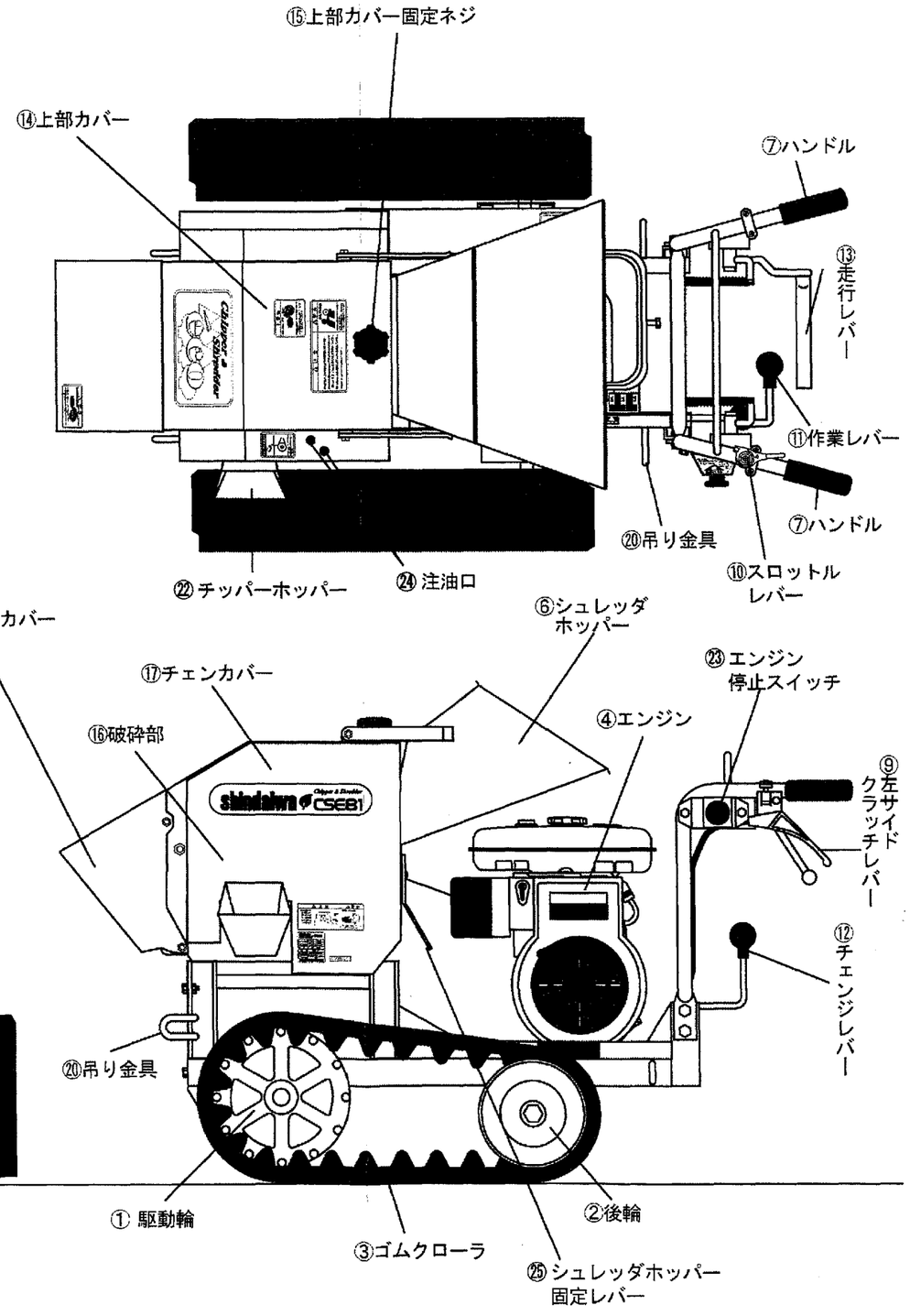
● 本機は子供、過労気味の人・使い方を知らない人・飲酒している人・妊娠している人・体の不自由な人は使用しないでください。
● 作業は作業しやすい袖、裾のしまった作業服、滑らない靴、帽子、皮手袋を着用してください。
● 作業中は、適当な休憩をとるようにしてください。
● 二人以上で作業するときは、安全のため合図を決め、声をかけ合って作業をしてください。
● 本機を他の人に貸すときは、取扱方法をよく説明し「取扱説明書」を読むように指導してください。

2. 仕様

モデル			CSE81−DC	
外形寸法	全長 mm		1475	
	全幅 mm		800	
	全高 mm		950	
乾燥重量 kg			198	
破砕装置	破砕方式		フリースイングハンマー ＆ チッパーカッター	
	主軸回転数 min^{-1}		2,600	
	処理能力 m^3/h		1.5〜2.0	
	チッパー部	ナイフ数	2	
		最大処理径 mm	軟材(生)Max65. 硬材(乾)Max60	
	シュレッダ部	ハンマ数	32	
		最大処理径 mm	軟材(生)Max45. 硬材(乾)Max40	
		供給方式	自動送りローラー	
走行装置	方式		クローラ自走	
	変速		前進 1段	後進 1段
	走行速度 km/h		前進 (3.0)	後進 (3.0)
	ブレーキ		無拡式	
	クローラ幅 mm		150	
	クローラ接地長 mm		470	
	最大登坂角度		24°	
エンジン	名称		空冷4サイクル立形OHV式ガソリンエンジン	
	型式		ロビン EH25−2B	
	ｼﾘﾝﾀﾞ数−内径×工程 mm		1-75×57	
	総排気量 ml		251	
	定格出力 kW (PS)/ min^{-1}		4.7(6.4)／1,800	
	最大出力 kW (PS)/ min^{-1}		5.9(8.0)／1,800	
	最大ﾄﾙｸ N·m(kgf·m)/ min^{-1}		33.1(3.38)／1,300	
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン	
	燃料タンク容量 L		約 6.0	
	燃料消費率 g/kW·h(g/PS·h)		310 (230)	
	使用潤滑油		純正オイル又は自動車用エンジンオイル SAE#20〜#30 SCクラス以上 (寒冷時SAE10W-30)	
	潤滑油量 L		約 1.0	
	点火方式		無接点式マグネット点火	
	始動方式		リコイル式	
	減速方式		1/2カム軸	
	エアクリーナー方式		半湿式	
	乾燥重量 kg		24	
	セット回転数 min^{-1}	高速	1,900±50	
		低速	700±50	

3. 各部の名称とはたらき

	名称とはたらき				
①	駆動輪		⑭	上部カバー	このカバーを開いて、内部の掃除をします。
②	後輪		⑮	上部カバー固定ネジ	固定ツマミを緩めてカバーを開きます。
③	ゴムクローラ		⑯	破砕部	本体のこの中にフリーハンマーとチッパーカッターがあります。
④	エンジン		⑰	チェンカバー	安全用のカバーでこの中にチェンとギヤがあります。
⑤	フレーム		⑱	ベルトカバーA	安全用のカバーでこの中にベルトとプーリがあります。
⑥	シュレッダホッパー	供給物の供給を行います。	⑲	ベルトカバーB	
⑦	ハンドル		⑳	吊り金具	本機を吊り下げてトラックの荷台等に積むときに使います。
⑧	左サイドクラッチレバー	走行時に握ると握った側に旋回します。	㉑	排出口カバー	
⑨	左サイドクラッチレバー	左右のレバーを同時に握ると本機は止まります。	㉒	チッパーホッパー	太い枝をここから供給します。
⑩	スロットルレバー	エンジンの回転数を調整します。	㉓	エンジン停止スイッチ	このスイッチでエンジンを止めることができます。
⑪	作業レバー	「入」にするとカッター部への動力を伝達します。	㉔	注油口	送りローラー駆動用チェンにオイルを注油します。
⑫	チェンジレバー	「前進」「後進」の方向を切り換えます。	㉕	シュレッダホッパー固定レバー	
⑬	走行レバー	走行用の動力伝達レバーです。チェンジレバーを入れた上で、レバーを「入」にするとブレーキが解除され車体が動きます。レバーを「切」にすると車体が止まり、車軸にブレーキがかかります。 走行時、このレバーに人が当たると「切」になり、本機は止まります。			



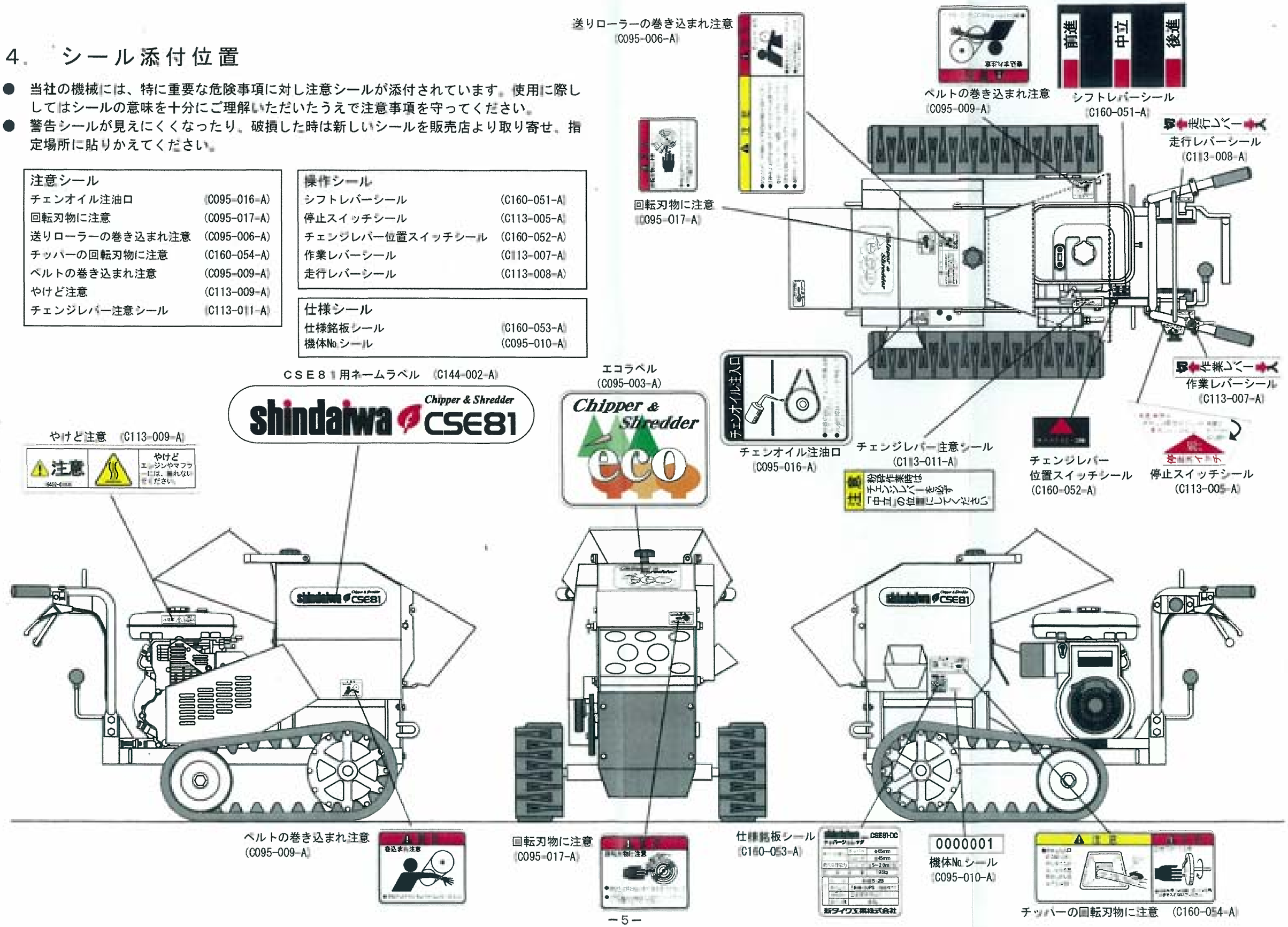
4. シール添付位置

- 当社の機械には、特に重要な危険事項に対し注意シールが添付されています。使用に際しましてはシールの意味を十分にご理解いただいたうえで注意事項を守ってください。
- 警告シールが見えにくくなったり、破損した時は新しいシールを販売店より取り寄せ、指定場所に貼りかえてください。

注意シール	
チェンオイル注油口	(C095-016-A)
回転刃物に注意	(C095-017-A)
送りローラーの巻き込まれ注意	(C095-006-A)
チッパーの回転刃物に注意	(C160-054-A)
ベルトの巻き込まれ注意	(C095-009-A)
やけど注意	(C113-009-A)
チェンジレバー注意シール	(C113-011-A)

操作シール	
シフトレバーシール	(C160-051-A)
停止スイッチシール	(C113-005-A)
チェンジレバー位置スイッチシール	(C160-052-A)
作業レバーシール	(C113-007-A)
走行レバーシール	(C113-008-A)

仕様シール	
仕様銘板シール	(C160-053-A)
機体No.シール	(C095-010-A)



5．　運転操作

5－1　運転準備（給油）

⚠　警告：火災

●エンジンを停止し、完全に冷えてから注油をしてください。
●くわえタバコやライター、マッチの使用は燃料に引火する場合があります危険ですのでしないでください。
●燃料は規定以上入れないでキャップは確実に閉めてください。万一こぼれた場合はきれいに拭き取ってください。

注意事項
●エンジンの取扱説明書をよくお読みください。

①オイルの点検をしてください。
・走行ミッションには、潤滑油が入っております。
（交換は年１回のペースで交換してください。油量0.7Ｌ・ギヤオイルＳＡＥ＃90
潤滑油の交換は販売店もしくは当社の営業所にお申し付けください。）
・エンジンにはエンジンオイルが入っております。
オイルのグレード・量はエンジンの取扱説明書を参照にしてください。
②燃料（無鉛ガソリン）を給油してください。

5－2　運転

⚠　警告：けが

●周囲の安全を確認し、低速で発進してください。
●傾斜地での旋回は、逆方向に旋回することがありますので、十分に注意してください。
●ベルトカバーやチェンカバーを外したまま運転をしないでください。
●走行しながらの作業はしないでください。

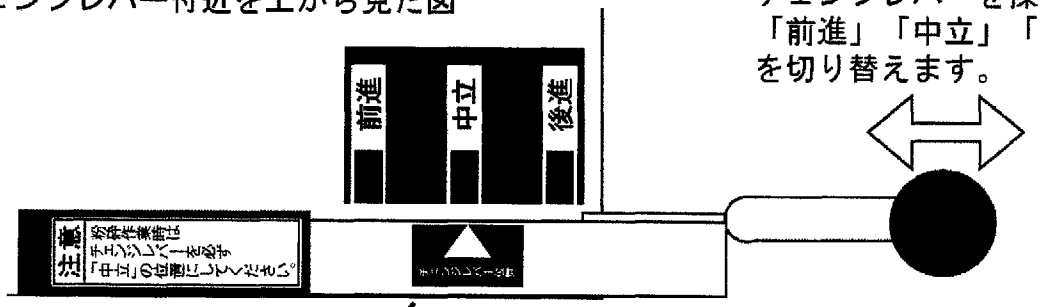
注意事項
●走行レバー、作業レバーは静かに入れてください。急激なレバー操作は事故やエンストの原因となります。
●左右のサイドクラッチレバーはストロークエンドまで確実に引いてください。
但し、必要以上に強く引かないでください。
●クローラの内側に草や土が堆積することがありますので、適宜、本機を停止して、草や土を取り除いてください。
●高速での旋回（特にアスファルト等の摩擦係数の高い路面）は危険です。低速で旋回するようにしてください。
●エンジンの取扱説明書をよくお読みください。

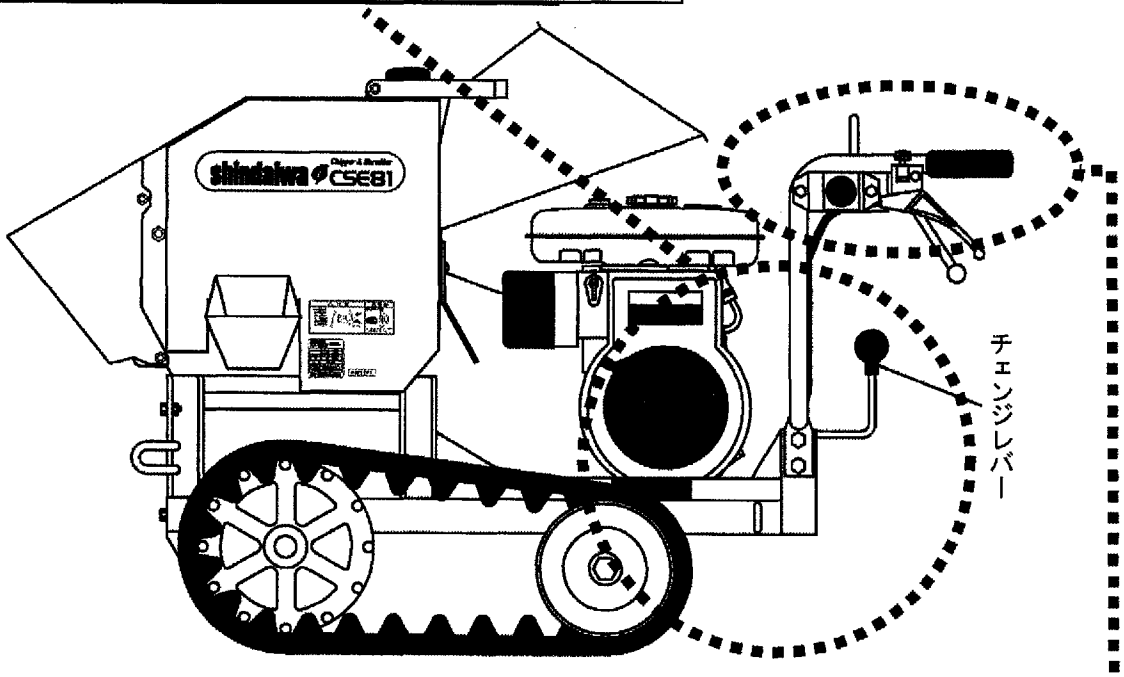
（１）エンジンを始動する前に

①チェンジレバー
…「中立」（中央）にします。

チェンジレバー付近を上から見た図

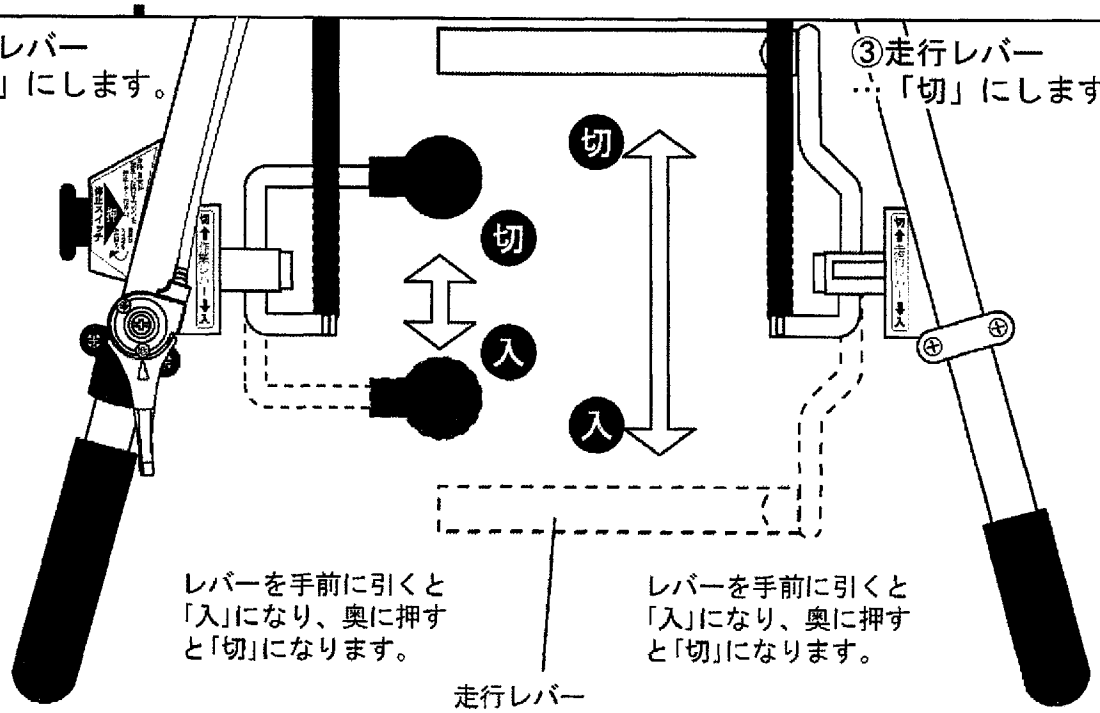
チェンジレバーを操作して
「前進」「中立」「後進」
を切り替えます。





②作業レバー
…「切」にします。

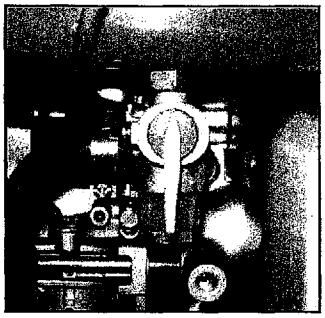
③走行レバー
…「切」にします。



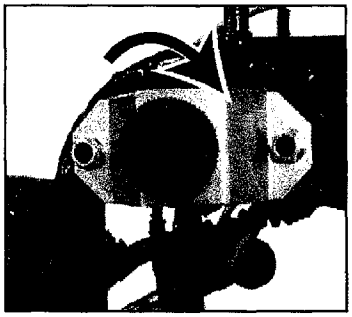
（2）エンジンの始動

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

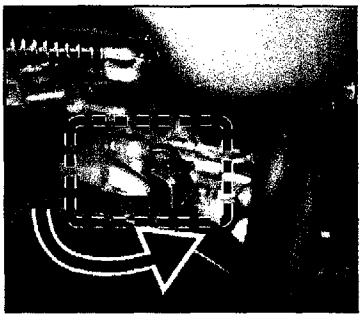
①燃料コックを「開」にします。



②エンジン停止スイッチを「復帰」側、矢印の方向に回します。



③チョークレバーを矢印の方向にします。

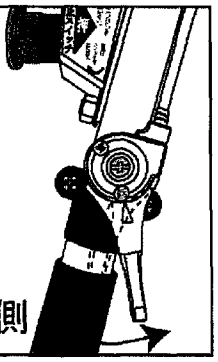


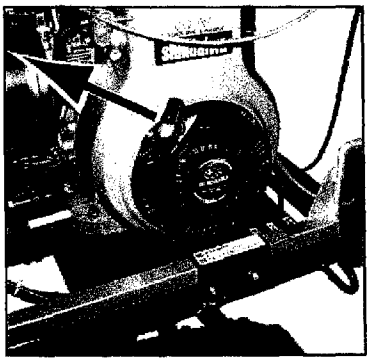
④スロットルレバーを外側に少し寄せます。

⑤スタータグリップを圧縮位置まで軽く引き、この位置から勢いよく引っ張ってください。

スロットルレバー

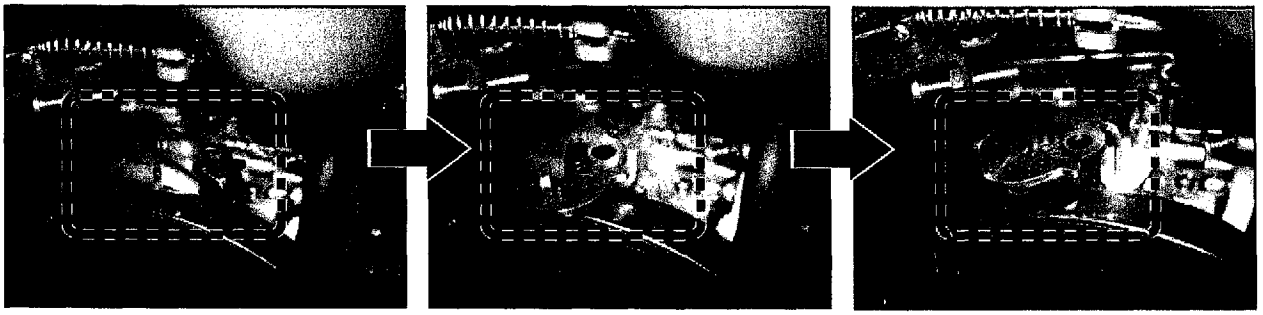
ハンドル左上に付いており、レバーを外側の方へ回すとエンジンの回転が上がります。
エンジン始動時にはレバーを外側に少し寄せてください。





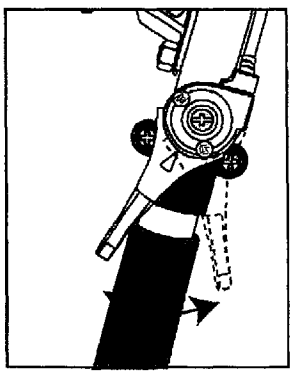
（3）運転（起動したら）

①チョークレバーを徐々に動かし、最後は最初の位置にしてください。



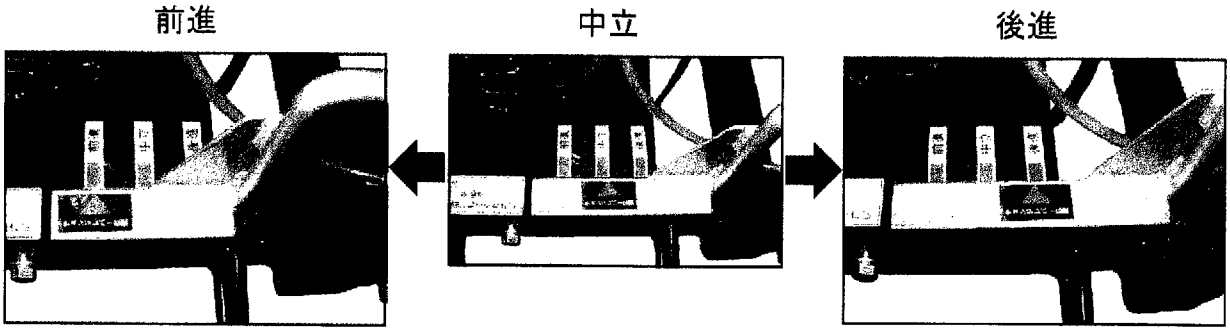
②しばらく暖気運転を行ってください。

③スロットルレバーを動かして適正回転に合わせます。



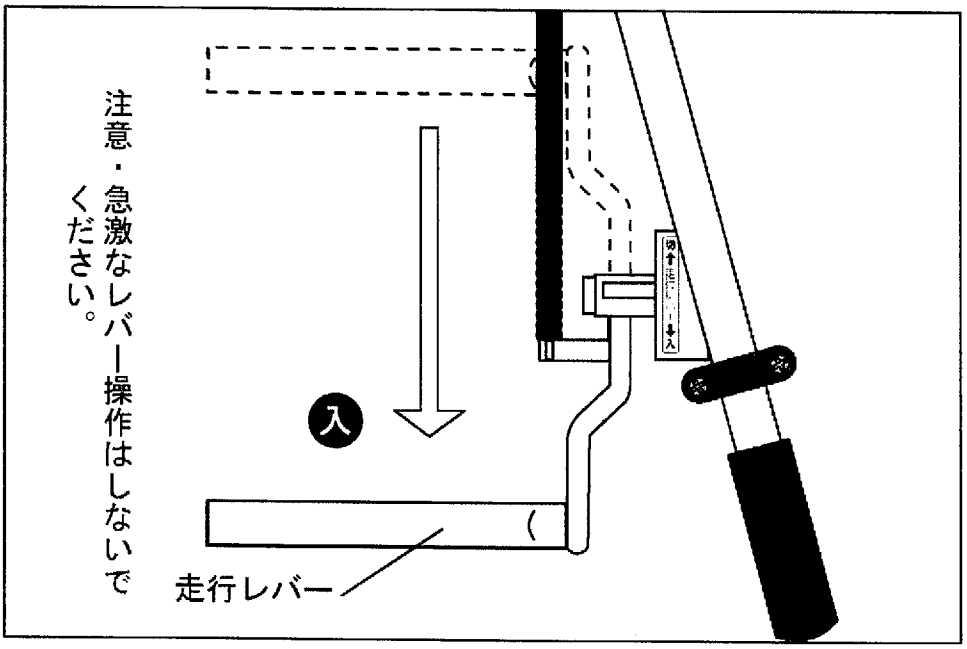
（4）走行

①チェンジレバーを前進、または後進の位置にします。



②スロットルレバーをやや低速気味にします。

③走行レバーを手前に徐々に引き上げます。

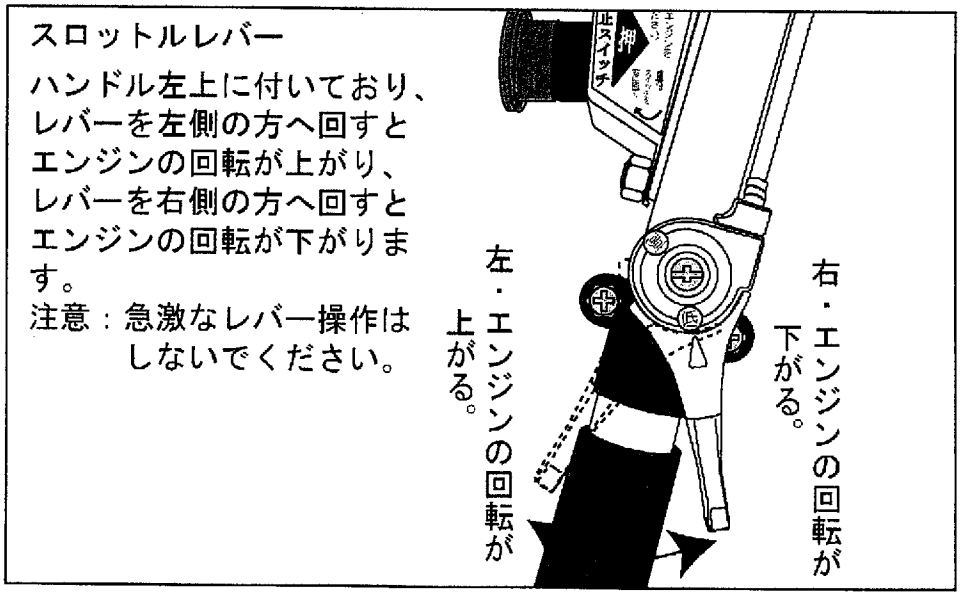


④スロットルレバーの操作で速度調節をします。

スロットルレバー

ハンドル左上に付いており、レバーを左側の方へ回すとエンジンの回転が上がり、レバーを右側の方へ回すとエンジンの回転が下がります。

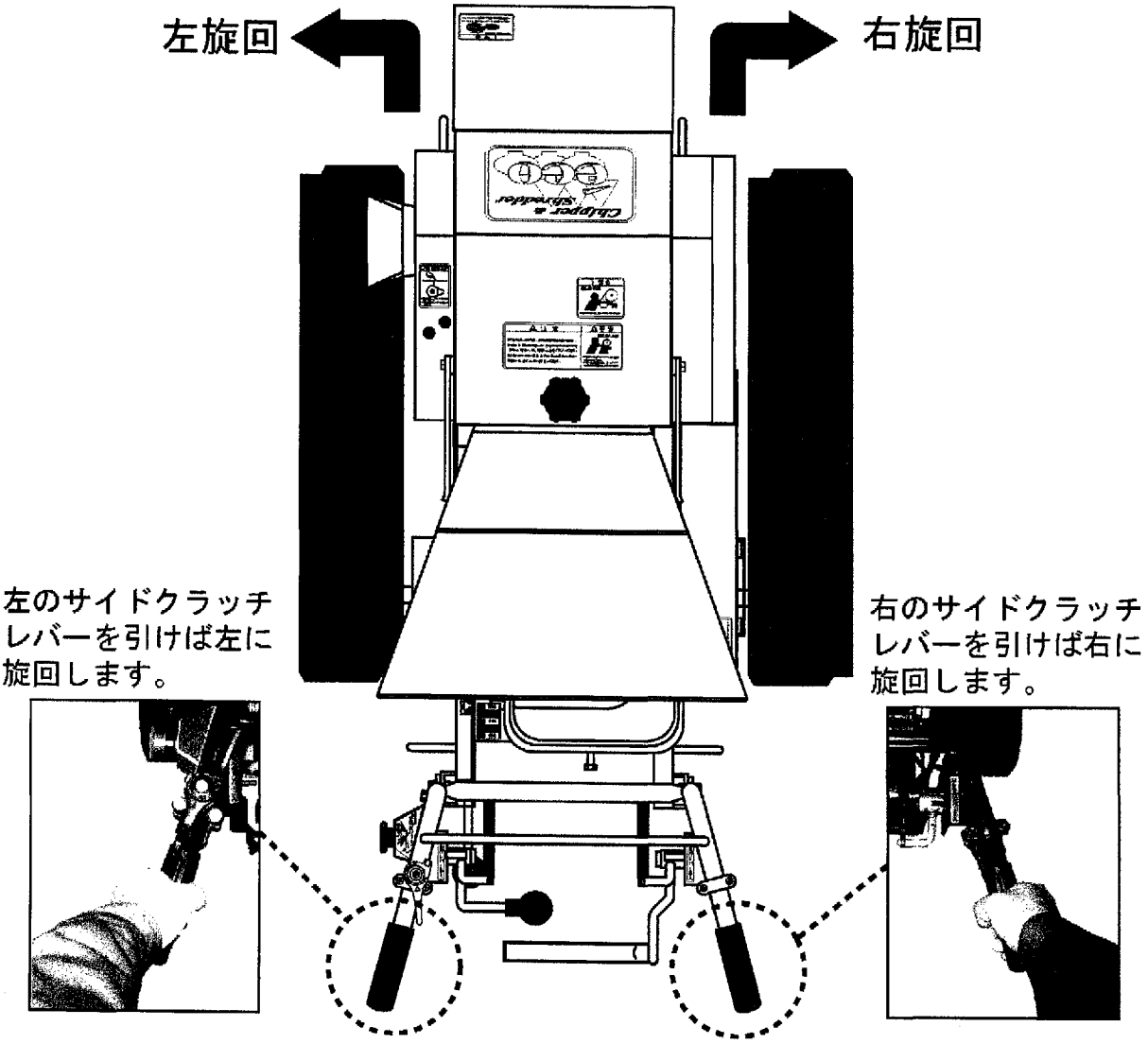
注意：急激なレバー操作はしないでください。



⑤走行中の方向転換は、ハンドルの左右に装備されたサイドクラッチレバーで操作します。

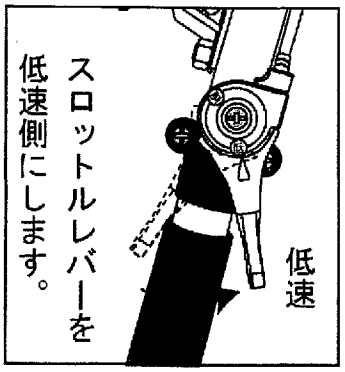
ａ走行中に曲がりたい方向のサイドクラッチレバーを握ります。
ｂサイドクラッチレバーを握った側のゴムクローラが止まります。
ｃゴムクローラが止まった方向に旋回します。
ｄサイドクラッチレバーを放すと直進します。

注意事項
●左右のサイドクラッチレバーはストロークエンドまで確実に引いてください。
但し、必要以上に強く引かないでください。

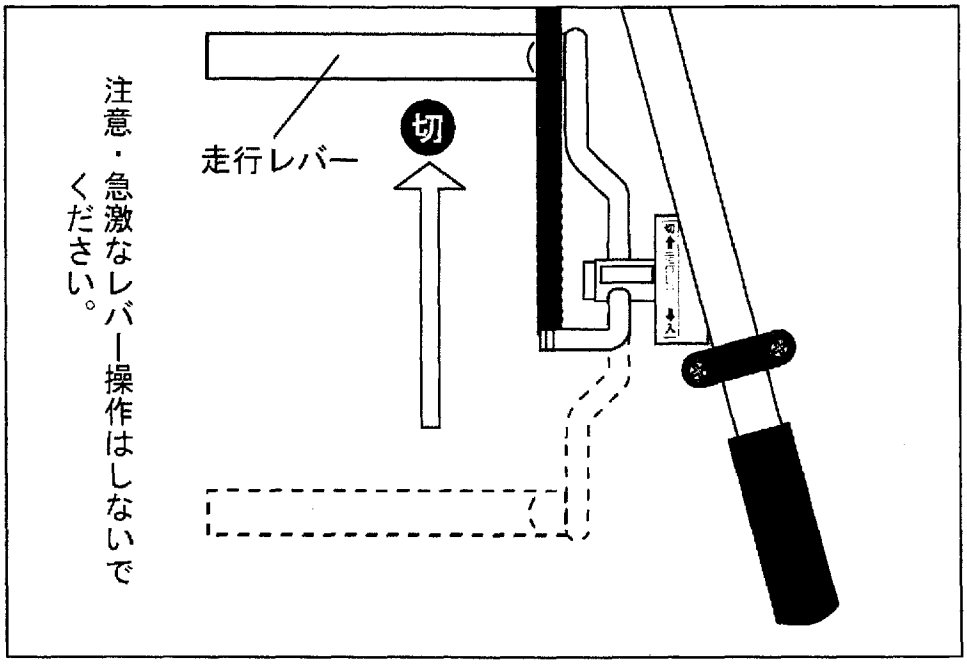


（５）走行停止

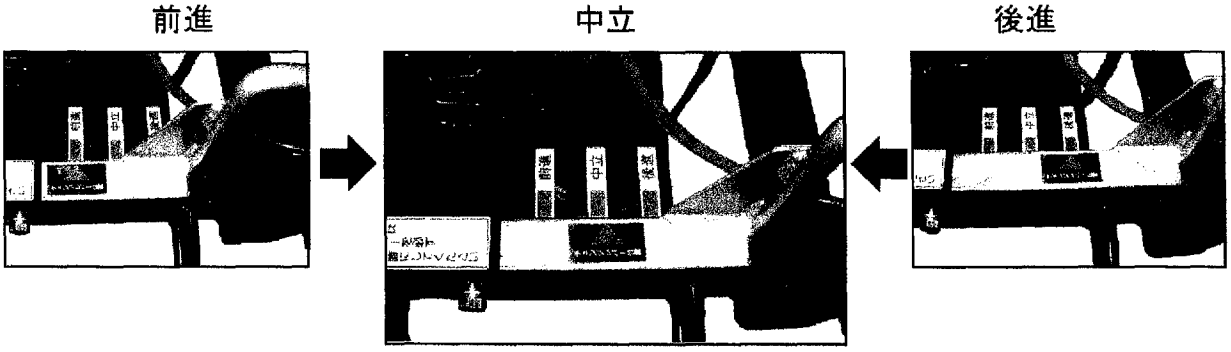
①スロットルレバーを徐々に低速側にします。



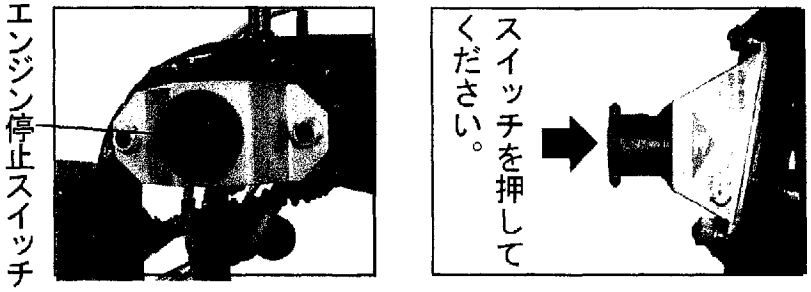
②走行レバーを「切」方向（前方）に押して走行を停止させます。走行が停止するとブレーキがかかります。



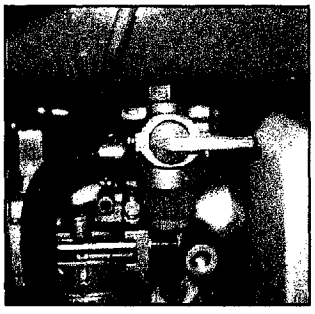
③チェンジレバーを「中立」（中央）の位置にします。



④エンジン停止スイッチを押してエンジンを停止します。



⑤燃料コックを「閉」にします。



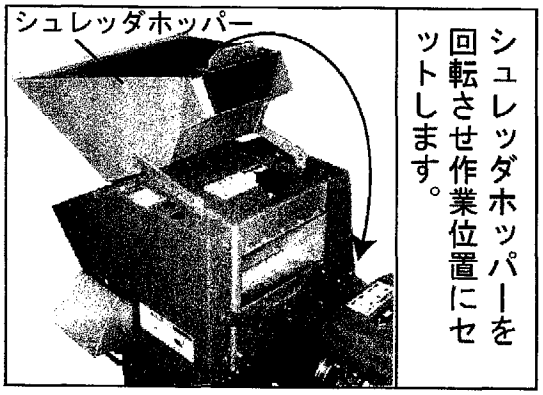
５－３　粉砕作業

⚠　警告：けが

●シュレッダホッパー、チッパーホッパー、排出口の内部には手を入れないでください。作業レバーを「切」にしても回転刃はすぐに止まりません。回転刃が完全に停止したのを確認して次の作業をしてください。
●運転したまま供給物を引っ張ったり、押し込んだり付着物を手で取ったりすることはしないでください。回転部に巻き込まれます。
●室内及び換気の悪い場所での作業は排気ガスが充満するためしないでください。
●作業は必ず平坦な場所で行ってください。
●排出口の方向は人や動物に向けないでください。また、排出口をのぞいたり近寄ったりしないでください。破砕物が飛んで危険です。

注意事項
●粉砕作業を行う時は、必ず走行レバーを「切」にし、チェンジレバーを「中立」の位置にしてから、粉砕作業を行ってください。
●供給物の中に、石、金属、ビニール製品等が混入していると、思わぬ事故や機体の破損を招く恐れがありますので、作業前に取り除いてください。
●エンジンが高回転のときに、作業レバーを急に「入」にしたり、スロットルレバーの操作を急激に行うと、ベルト等が破損することがありますので、できるだけ避けてください。
●内部の切り屑、軸部の巻き付きなど取り除いてください。
●作業中、作業レバーを「切」にする場合は、非常時をのぞいて供給物が無くなってからにしてください。
●供給物は均一に丁寧にいれてください。
●緊急時には作業レバーを「切」の状態にしてください。

①シュレッダホッパーをセットします。



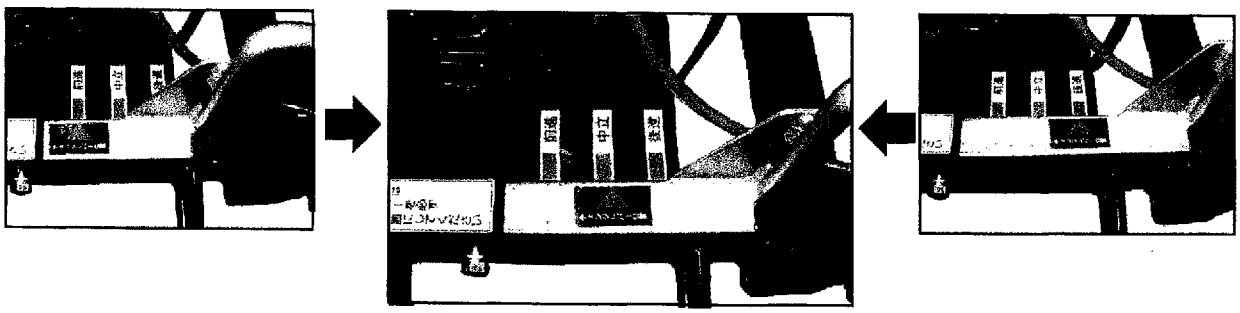
シュレッダホッパーを回転させ作業位置にセットします。



シュレッダホッパー固定レバーで固定します。

②チェンジレバーを「中立」（中央）にします。

前進　　中立　　後進

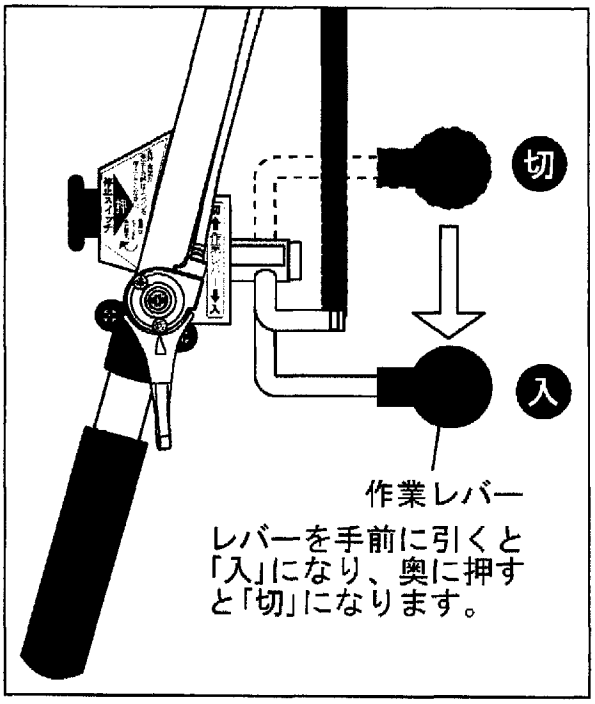


③エンジンを始動します。（P－8　5－2運転　（2）エンジンの始動参照）

③スロットルレバーは、やや低速位置で、エンジンの回転数をあまり上げないでください。



④作業レバーを徐々に「入」方向（手前）に引き上げます。送りローラーが回転します。

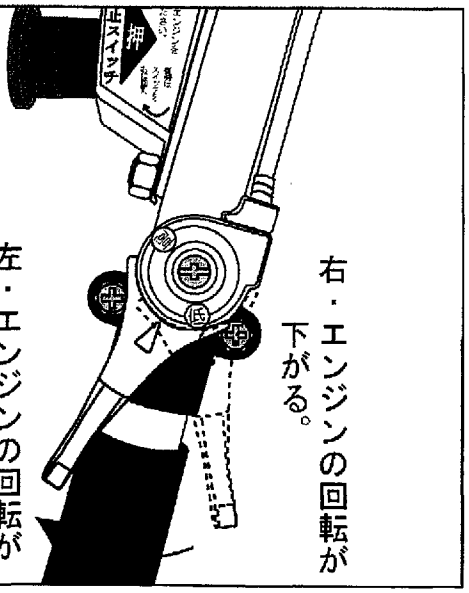


⑤スロットルレバーを徐々に高速にし、所定の回転数にしてください。

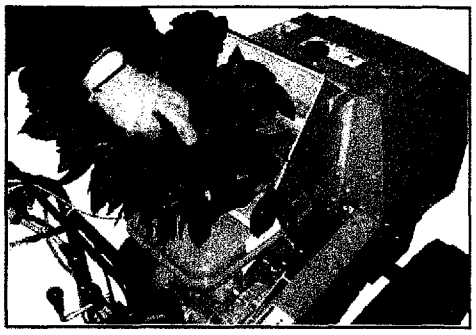
スロットルレバー

ハンドル左上に付いており、レバーを左側の方へ回すとエンジンの回転が上がり、レバーを右側の方へ回すとエンジンの回転が下がります。

注意：急激なレバー操作はしないでください。

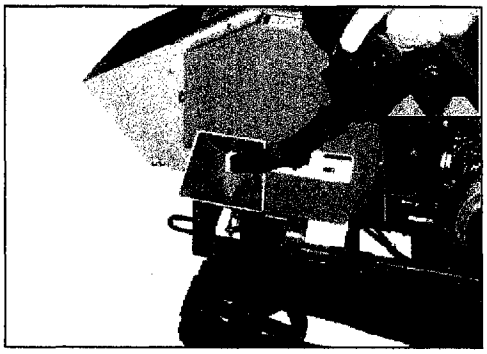


（１）フリーハンマーでの粉砕



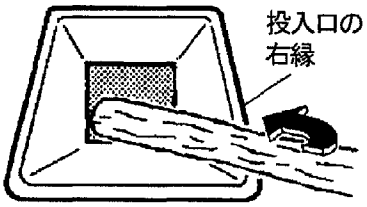
①供給物をシュレッダホッパーより供給してください。
②送りローラーでハンマー部に送り粉砕後、排出口より排出します。
③直径４５ミリまでの枝、葉類を処理します。

（２）サイドカッターでの粉砕



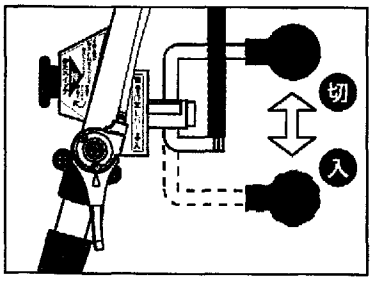
①直径６５ミリまでサイドカッターで処理できます。サイドホッパーへ１本づつゆっくりと押し込んでください。
サイドカッターで切断して排出口から排出します。
②枝が短くなったら危険ですので、無理に押し込まないでシュレダホッパーへ入れてください。
・排出口の下には、粉砕物が積もりますので適宜排除してください。
粉砕物がハンマー部まで積もると、粉砕が出来なくなることがあります。
・運転中は危険ですから、絶対にチッパーホッパーに手を入れないでください。

※注意
サイドホッパーの右縁に処理材を押し当てながら、斜めに押し込んでください。

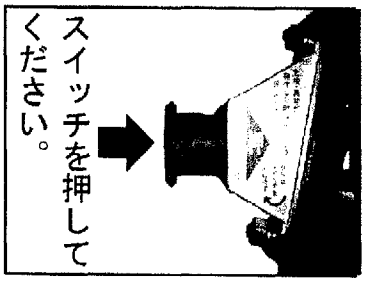


５－４　過負荷によってエンジンが停止したとき

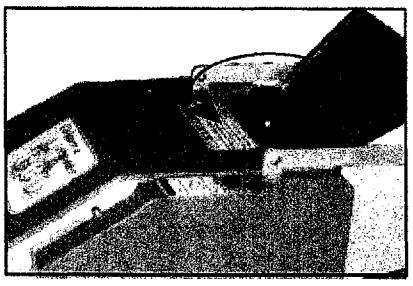
①作業レバーを切の位置にしてください。



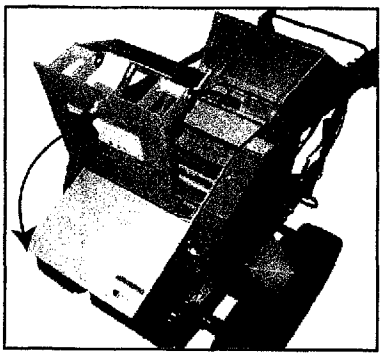
②エンジン停止スイッチを押してください。



③刃物が完全に停止していることを確認したら、上部カバー固定ネジを回します。

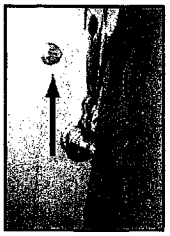


④上部カバーを開きます。

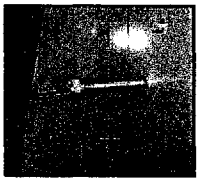


⑤排出口のスクリーンを開きます。

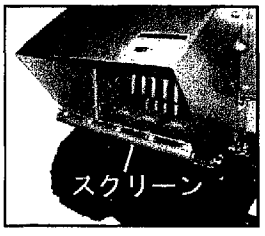
ａスクリーンを固定しているタイボルトのピンを外します。



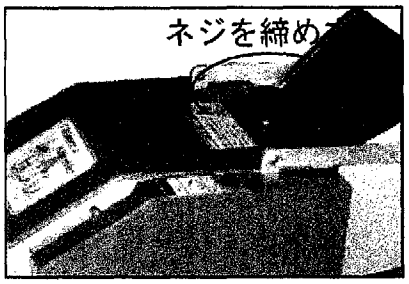
ｂタイボルトを引き抜きます。



ｃスクリーンを開きます。



⑥内部の破砕物を取り除いてください。送りローラー・フリーハンマーに注意してください。
※このとき皮手袋を着用してください。
⑦破砕物を取り除いたら「⑤排出口のスクリーンをひらきます。」の逆の工程でスクリーンを閉めて固定してください。
⑧上部カバーをを閉めて上部カバー固定ネジを締めてロックします。



⑨再度お使いになる場合は、エンジンをかけ直して作業を再開してください。

6.　各部の調節・操作

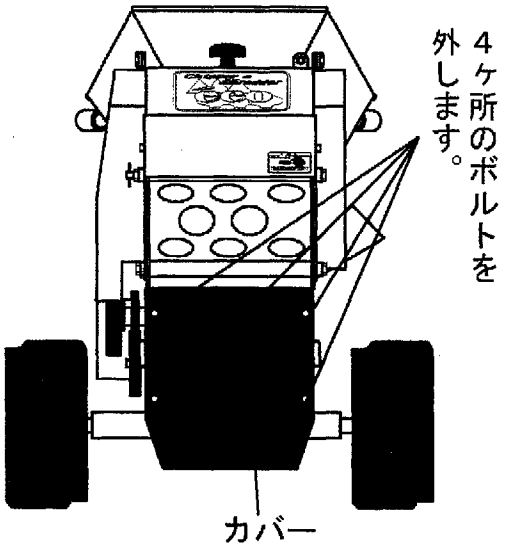
> ⚠ 注意：火災・やけど・けが
>
> ●整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
> ●整備を行うときは、絶対に火気を近づけないでください。
> ●エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

6－1　ワイヤーの調節

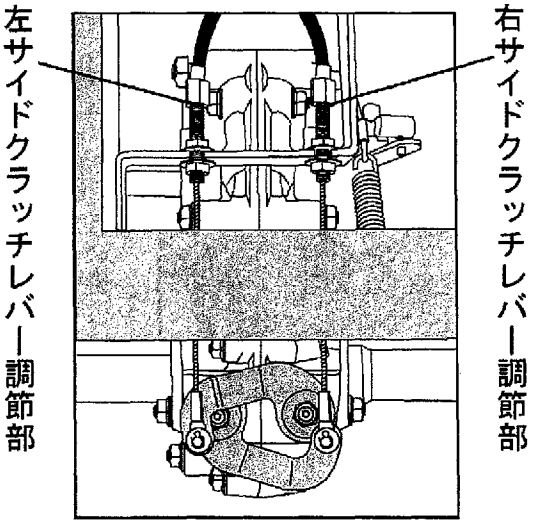
（1）サイドクラッチワイヤーの調節

サイドクラッチレバーを握ってゴムクローラが止まらずに旋回出来なくなったらワイヤー調節をしてください。

①本体正面のカバーを外します。



②カバーを外すとサイドクラッチレバーワイヤー調整部がでます。

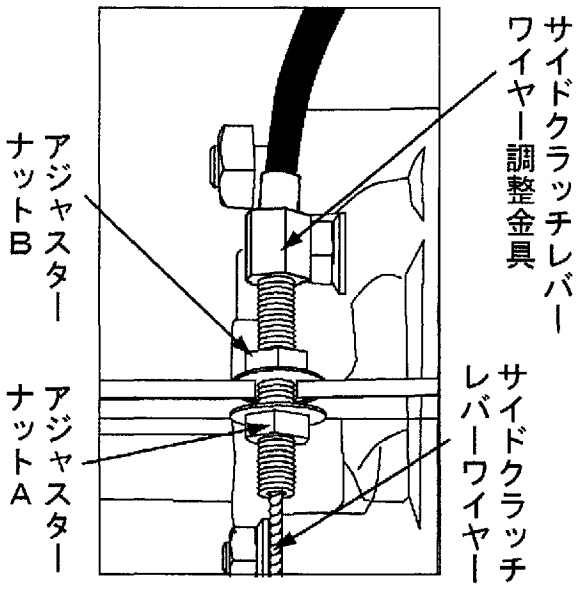


③サイドクラッチレバーワイヤー調節部のアジャスターナットＡ・Ｂを回してサイドクラッチレバーワイヤーを調節します。

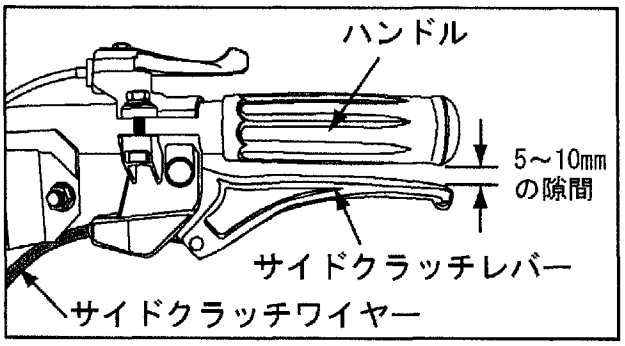
※調整作業中サイドクラッチレバーワイヤー調整金具が連れ廻りしないようにスパナ等で押さえてください。

ａアジャスターナットＡを弛めます。

ｂアジャスターナットＢを回してサイドクラッチレバーワイヤーの張りを調節します。

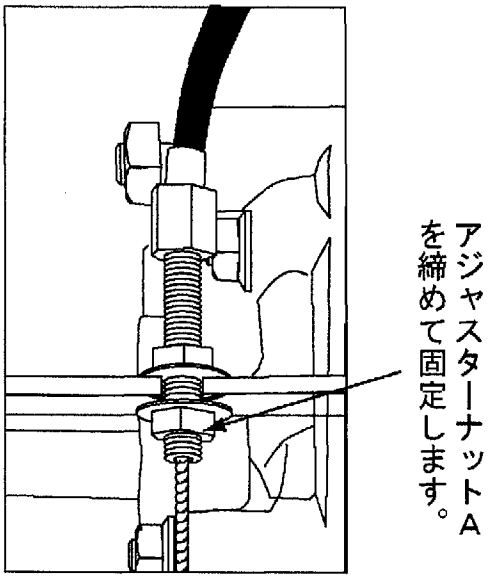


ｃサイドクラッチレバーを握った状態でハンドルとの間に５～１０㎜位の隙間が開くように調整します。



ｄ調節が終了したらアジャスターナットＡを回してサイドクラッチレバーワイヤー調整金具を固定します。

ｅエンジンを始動して、サイドクラッチレバー開放時、動力がゴムクローラに伝達されていることを確認してください。



ｆ本体正面のカバーを取り付けます。

以上でサイドクラッチワイヤーの調節は終了です。

（2）走行レバーのブレーキワイヤー・作業レバーの送りローラーワイヤーの調整

ブレーキワイヤーと送りローラーワイヤーの調節はお買い求めの販売店もしくは当社の営業所にお申し付けください。

ワイヤーの交換も同様にお願いします。

6－2　エンジン

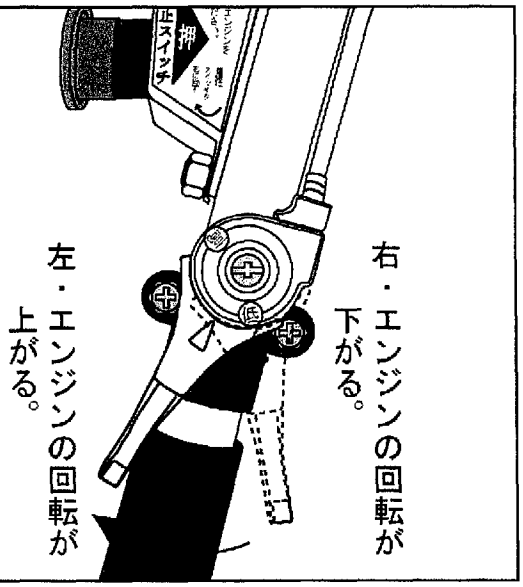
注意事項
●エンジンについての取り扱い、調節、点検、整備等の具体的な内容は、エンジン取扱説明書に従ってください。

ハンドル部に装備されたスロットルレバーを、左側に操作すればエンジン回転が高速となり、右側に操作すれば低速となります。

スロットルレバー

ハンドル左上に付いており、レバーを左側の方へ回すとエンジンの回転が上がり、レバーを右側の方へ回すとエンジンの回転が下がります。

注意：急激なレバー操作はしないでください。



7．　整備・点検・清掃

⚠　警告：けが

●点検、整備、清掃する場合は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
●点検、整備、清掃終了後安全のためカバー類はもとのように確実に取り付けてください。
●点検、整備、清掃する場合は、必ずエンジン等が十分冷えてから行ってください。やけどの危険があります。
●エンジン及びエンジンの周囲はいつもきれいにし加熱による火災を防止してください。
●エンジンの冷却ファンを山草、枝類、ワラ等で目詰まりさせるとオーバーヒートのの原因となりますので、エンジンは絶えず清掃してください。

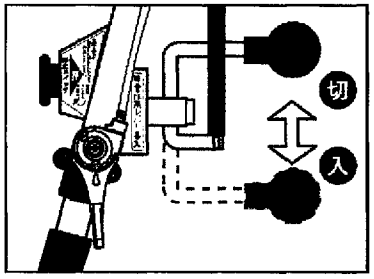
注意事項
●各主要部の伝動は、Ｖベルトとチェンを使用しています。頻繁に点検し、こまめに調節することがベルトやチェンの耐久力を維持する秘訣です。
●負担変動が大きく振動が激しいので、ネジのゆるみが発生しやすくなります。点検締め増しを怠らないでください。

７－１　清掃

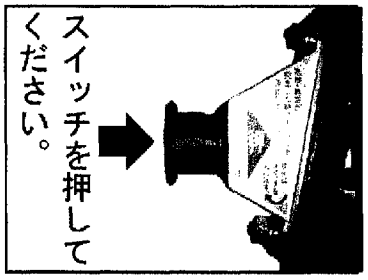
作業が終わりましたら運転を停止し、機体に散在した粉砕片、ゴミ、チリをきれいに取り除いてください。
特にエンジン周辺及びエアクリーナーは、必ず点検、清掃してください。

（１）粉砕部の清掃

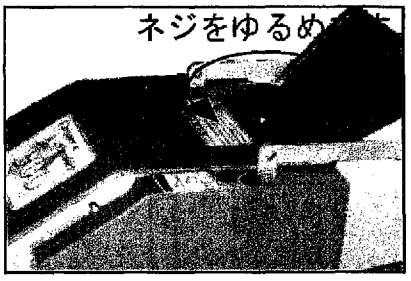
①作業レバーが切の位置になっていることを確認してください。



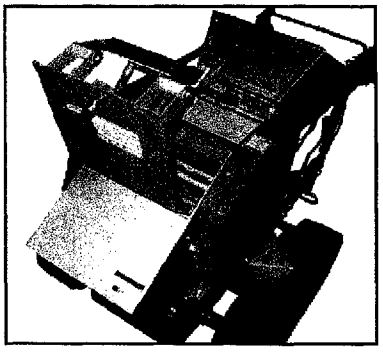
②エンジン停止スイッチが押してあるか確認してください。



③刃物が完全に停止していることを確認したら、上部カバー固定ネジを回します。



④上部カバーを開きます。

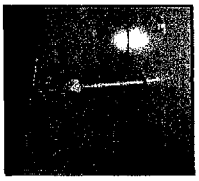


⑤排出口のスクリーンを開きます。

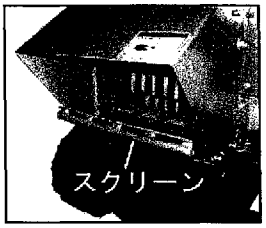
ａスクリーンを固定しているタイボルトのピンを外します。



ｂタイボルトを引き抜きます。



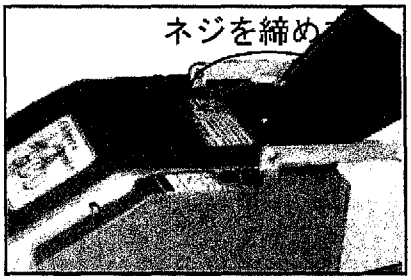
ｃスクリーンを開きます。



⑥内部の破砕物を取り除いてください。送りローラー・フリーハンマーに注意してください。　※このとき皮手袋を着用してください。

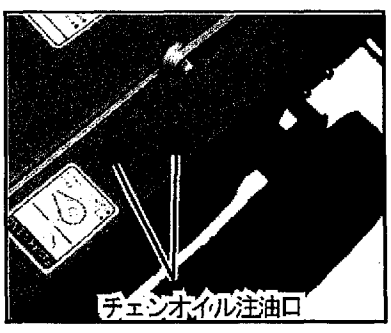
⑦破砕物を取り除いたら「⑤排出口のスクリーンをひらきます。」の逆の工程でスクリーンを閉めて固定してください。

⑧上部カバーをを閉めて上部カバー固定ネジを締めてロックします。



７－２　注油

（１）本機のチェンカバー側に、２か所の注油穴がありますので、ご使用前に必ず注油してください。
（２）走行レバー及び、作業レバーのアーム軸、レバー軸の軸受部。
（３）サイドクラッチワイヤー、ブレーキワイヤー及び接続部。

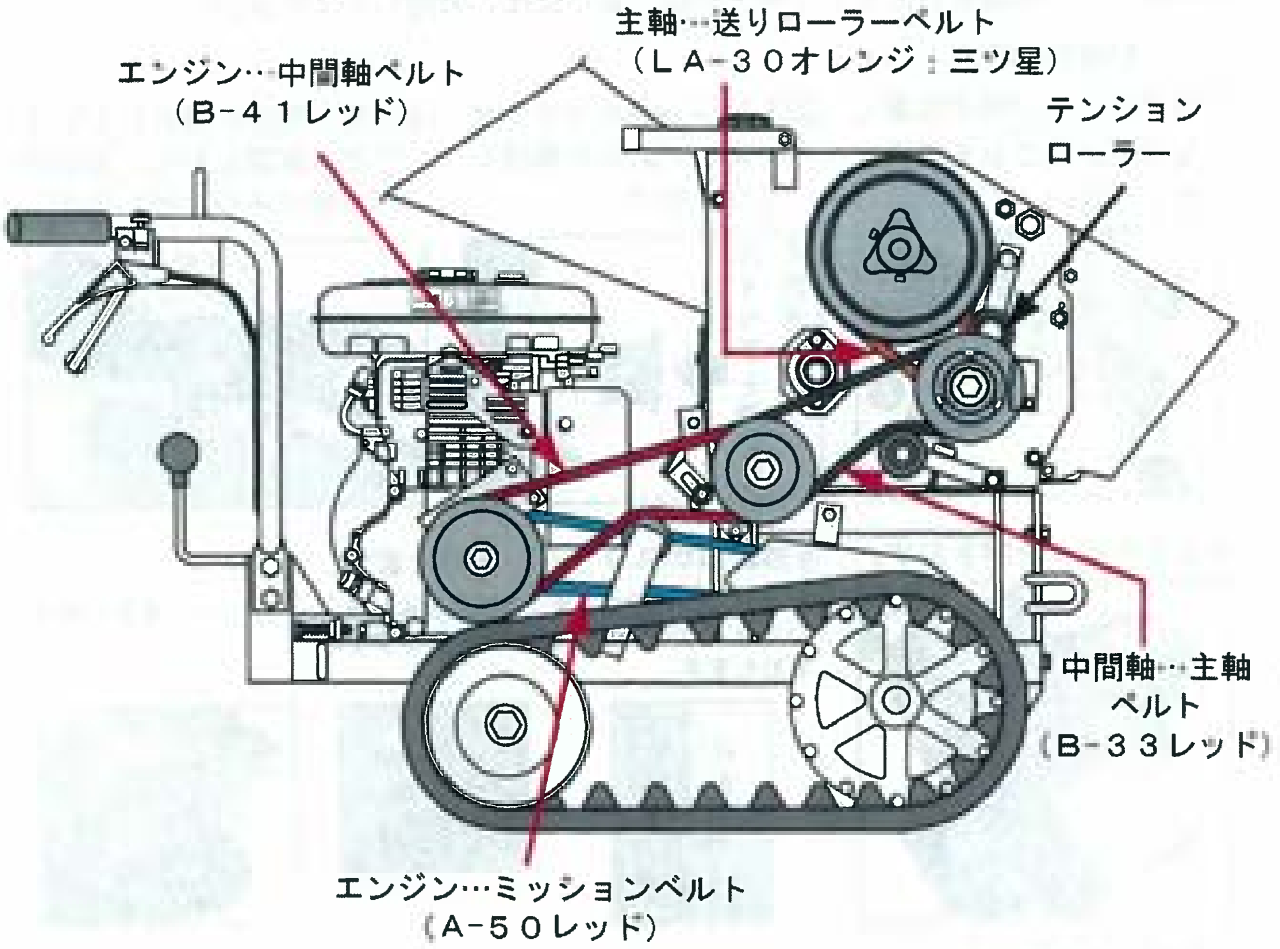


７－３　Ｖベルトの点検

（１）Ｖベルトの名称

本機は４本のＶベルトを使用しています。

Ｖベルトの名称は下記のとおりです。



（２）Ｖベルト点検方法

①ベルトカバーＡ・Ｂ（Ｐ－４「各部の名称と働き」を参照）を外します。

②３本のＶベルトを手で押して張り具合を確認します。

※主軸…送りローラーベルトはテンションローラーで自動調整されています。



Ｖベルト	張り具合
エンジン…ミッションベルト	１．５kgで５㎜程度のたわみ
エンジン…中間軸ベルト	１．５kgで５㎜程度のたわみ
中間軸　…主軸ベルト	２．０kgで５㎜程度のたわみ

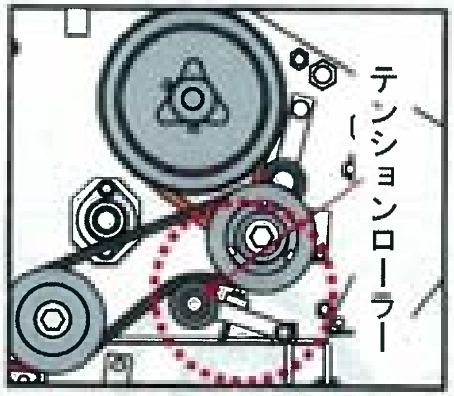
（３）調整方法

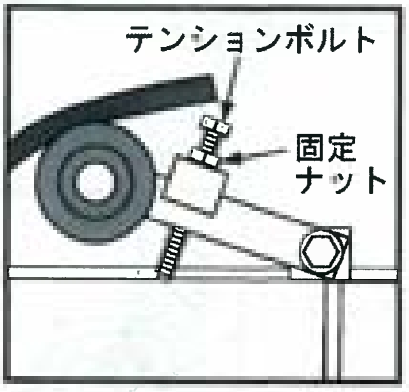
Ｖベルトの張りがゆるくなりましたら次の説明に従ってＶベルトの張りを調整してください。

①エンジン…ミッションベルトおよびエンジン…中間軸ベルトの張りを調節する場合はお買い求めの販売店もしくは当社の営業所にお申し付けください。

②中間軸…主軸ベルト

テンションローラーをボルトで調整します。





ａテンションローラーを固定してある固定ナットを緩めます。
ｂテンションボルトを締めテンションローラーの位置を動かします。Ｖベルトの張りが適正になるようにテンションボルトを回し調節します。
ｃＶベルトの調節が終わったら固定ナットを締めてテンションボルトを固定します。

（４）Ｖベルトに亀裂や磨耗等が発生しましたら取り替えてください。

≪Ｖベルト規格≫

エンジン…ミッション　：Ａ－５０レッド
エンジン…中間軸　　：Ｂ－４１レッド
中間軸　…主軸　　：Ｂ－３３レッド
主軸　　…送りローラー：ＬＡ－３０オレンジ（三ツ星）

Ｖベルトの交換はお買い求めの販売店もしくは当社の営業所にお申し付けください。

７－４　チェンの点検（次頁参照）

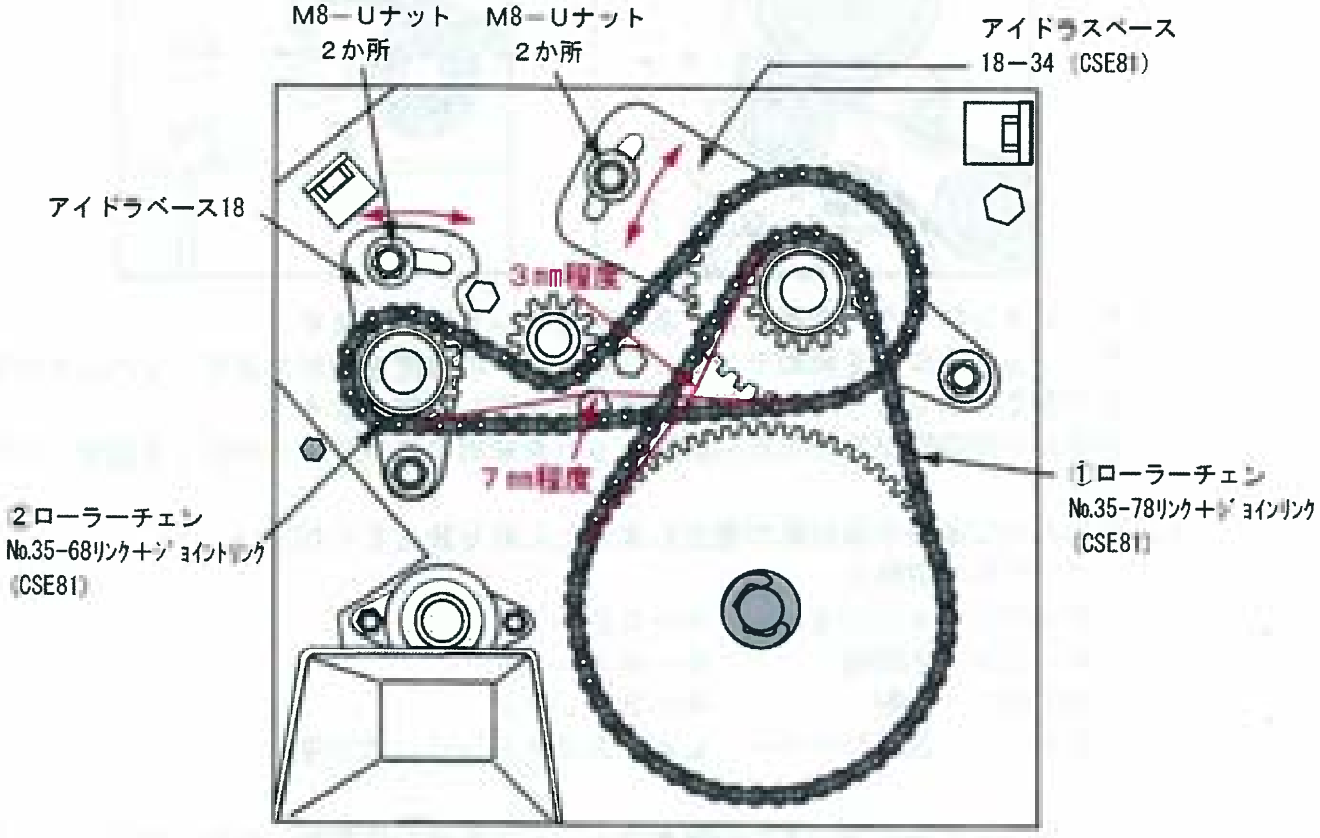
（１）チェンカバー（Ｐ－４「各部の名称と働き」を参照）を止めている３箇所のボルトを外し、チェンカバーを外します。
（２）チェンを点検して亀裂や伸びがないか点検してください。
（３）チェンの中央を手で直角方向に動かし、「たるみ量」を確認してください。チェンの「たるみ量」が多い場合はチェーンを調節してください。
（４）チェンの交換は、お求めの販売店か弊社営業所に申し付けてください。
①№３５－７８リンク＋ジョイントリンク……ＣＳＥ８１
②№３５－６８リンク＋ジョイントリンク……ＣＳＥ８１

調節方法

①ローラーチェン：№３５－７８リンク＋ジョイントリンク（ＣＳＥ８１）の調節の場合アイドラベース１８及び１８－３４（ＣＳＥ８１）を固定しているＭ８－Ｕナット各２か所を緩めます。
アイドラベース１８－３４（ＣＳＥ８１）の位置を調節しながら「たるみ量：３㎜程度」を確認してＭ８－Ｕナット（２か所）を締めます。
アイドラベース１８の位置を確認しながら「たるみ量：７㎜程度」を確認しＭ８－Ｕナット（２か所）を締めます。

※チェンを調整した場合、②のチェンの張りも変わってくるので、必ず合わせて調整してください。

②ローラーチェン：№35－68リンク＋ジョイントリンク（ＣＳＥ８１）のみ調整の場合アイドラベース１８を固定しているＭ８－Ｕナット（２か所）を緩め、アイドラベース１８の位置を矢印の方向に調節しながら「たるみ量：７㎜程度」にしＭ８－Ｕナットを締めます。

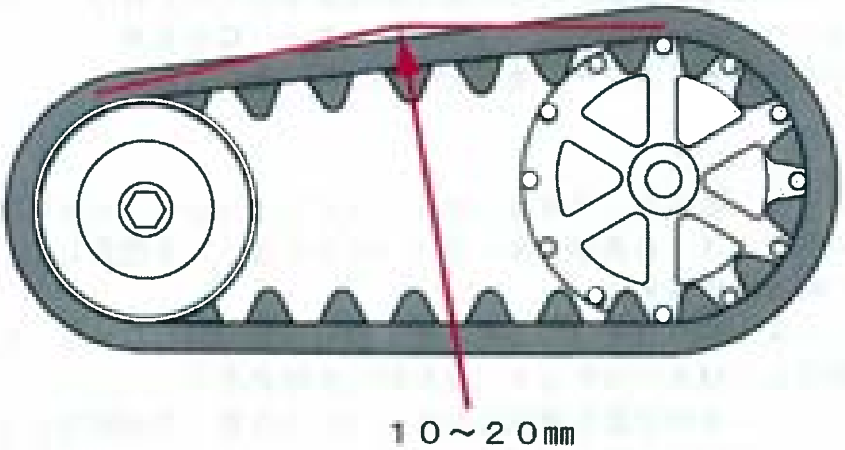


７－５　ゴムクローラの点検

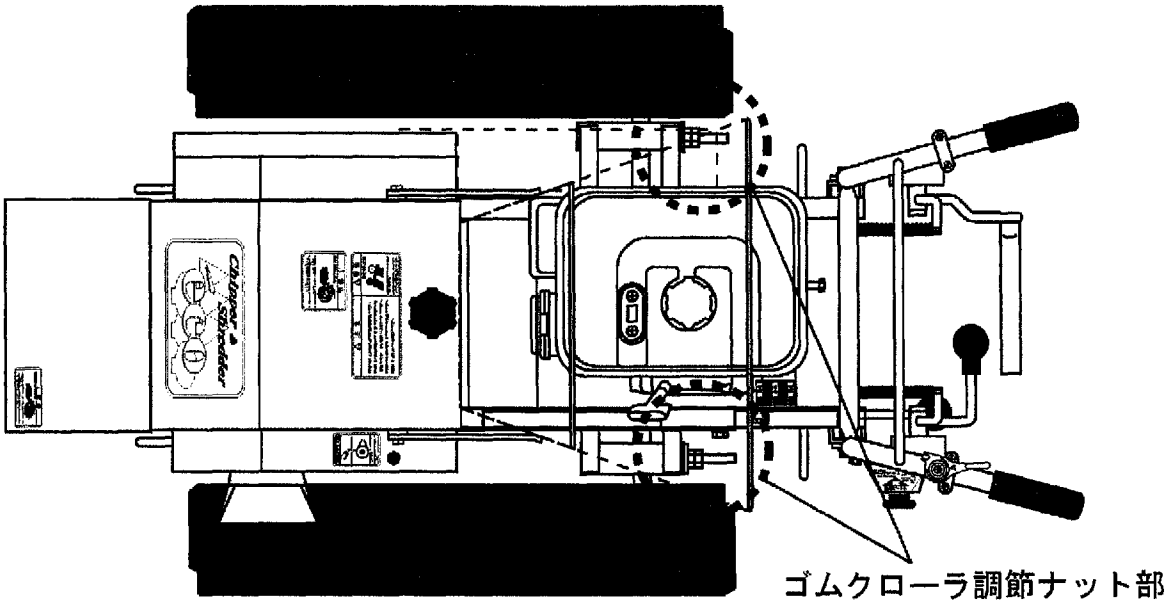
（１）ゴムクローラに亀裂や損傷が無いか点検してください。

（２）ゴムクローラの張りを確認してください。

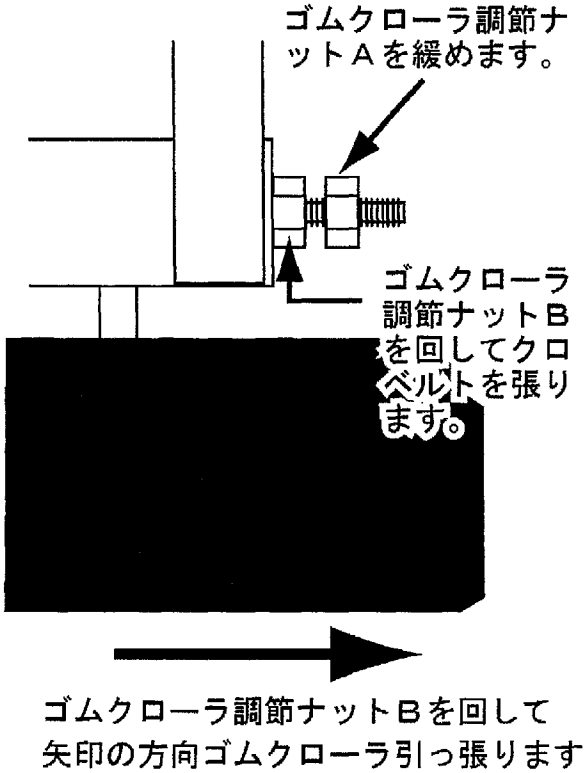
①ゴムクローラの上部を引いてたわみが１０～２０㎜の間に収まっているか確認してください。



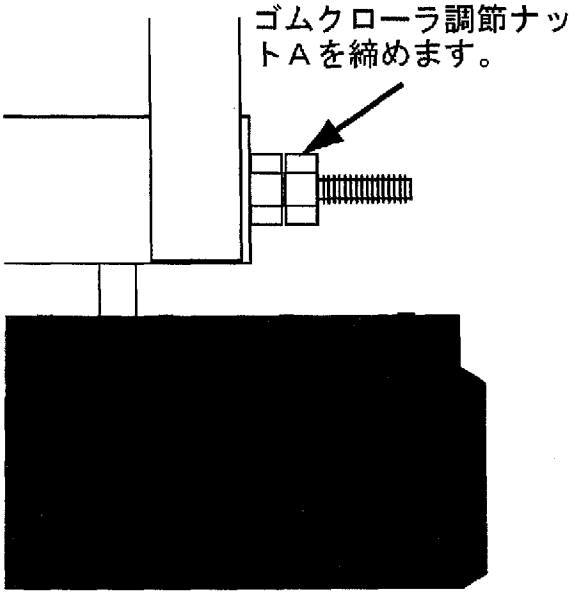
②２０㎜以上のたわみがある場合は下記の手順でたわみを調節してください。
２か所のゴムクローラ調節ナット部で張りを調節します。



ａ２か所のゴムクローラ調節ナットＡをゆるめます。
ｂゴムクローラ調節ナットＢを回してゴムクローラを張ります。たわみは１０～２０㎜の間で調節してください。
※強く張り過ぎないように注意してください。
ｃ調節が終わったらゴムクローラ調整ナットＡを締めて固定してください。



ゴムクローラ調節ナットＢを回して
矢印の方向ゴムクローラ引っ張ります。



これで調節は終了です。

（３）ゴムクローラの交換は、お買い求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

8.　保守

使用後は次の要領で手入れをしてください。（本機を永くご使用いただくために作業をされた後は必ず下記の保守を行ってください。）

（1）粉砕物の残りを取り除き、各部の清掃を行ってください。
（2）ボルト・ナット類の弛み等を点検し、調節の必要があれば行ってください。
（3）注油箇所には汚れを取り除き、必ず注油してください。
（4）クラッチ類は「切」の位置にしてください。

9.　長期保管

⚠ 注意：火災・やけど・けが

●整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
●整備を行うときは、絶対に火気を近づけないでください。
●エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

整備後の長期保管には、次の処置を行ってください。

（1）エンジンの燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を完全に抜き取ってください。
（2）ハンマー部、カッター部をきれいに掃除し、防錆油等を塗布してください。
樹液が落ちにくいときは、市販の樹液取スプレーを使用して樹液を落としてから防錆油を塗布してください。
（3）Vベルトの保護のために走行レバーと作業レバーは必ず「切」にしてください。
（4）チェン、ワイヤー等の稼動部に注油してください。
（「7－2　注油」を参照）
（5）保管は風通しのよい、湿気の少ない場所へ防塵カバーを掛けて保管してください。

１０．　こんなトラブルが起こったら

⚠ 注意：火災・やけど・けが

●整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
●整備を行うときは、絶対に火気を近づけないでください。
●エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

現　象	原　因	処　置
フリーハンマー、サイドカッターが回らない	Ｖベルトが外れている	かけなおす
	テンションプーリーが外れている	かけなおす
運転中エンジンが停止する	供給物の入れすぎ	供給物を取り除き、再度エンジンを始動し、作業は適量づつ供給する
	燃料パイプのつまり、又はふさがり	エンジンの点検・清掃
	燃料が無くなっている	燃料を補給する
排出口がつまる	排出口の中へ粉砕物が堆積	排出口の前の粉砕物を取り除く
	回転数が少ない	スロットルレバーで回転数を上げる
異音がする	油が切れている	注油する
走行しない	Ｖベルトが外れている	かけなおす
	テンションプーリーが外れている	かけなおす

shindaiwa

保証書

(Type-B)

このたびは新ダイワ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきましては、つぎの通り保証いたします。

1．保証期間

無償保証修理を受けられる期間はお買い上げ日から１年間といたします。但し、つぎの使用開始後の累計時間を経過したものは保証いたしかねます。

・発電機　①10 kW未満は600時間　②10 kW以上は1,000時間
・エンジン溶接機　①ガソリンエンジンは600時間　②ディーゼルエンジンは1,000時間

2．保証内容

保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合にかぎり、修理を無償でいたします。

3．保証の適用除外

つぎに示すような場合は保証期間中であっても有償修理となります。

（1）取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行なわなかったために生じた故障
（2）弊社が示す仕様の限度をこえて使用したために生じた故障
（3）弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
（4）弊社のサービス指定工場および弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
（5）弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
（6）時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
（7）一般的に品質、機能および安全上に全く影響がないと認められる音、振動、オイルのにじみ、外観上の軽微なキズなど
（8）自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
（9）一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
(10) バッテリー溶接機、エンジンスターターなどに使用されるバッテリー
(11) 製品が日本国外で使用された場合

4．注意事項

（1）本保証書の提示なき場合または記載内容の不備あるいは改訂のある場合は保証しかねる場合があります。
（2）本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失および費用は保証の範囲から除外させていただきます。
（3）保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)：		製造番号：
お買い上げ日：	年　月　日	
お客様	お名前：　印	
	おところ：〒	
	TEL：	ご職業：
販売店	住所：	
	店名：	
	TEL：　印	

新ダイワ工業株式会社
広島市安佐南区大塚西６丁目２－11

新ダイワ工業株式会社

本社	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL	082-849-2001
札幌営業所	〒065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	TEL	011-783-7551
仙台営業所	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	TEL	022-239-1688
郡山営業所	〒963-0107	福島県郡山市安積4丁目48-1	TEL	024-945-8678
盛岡営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	TEL	019-641-3416
東京営業所	〒134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	TEL	03-3687-5771
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	TEL	043-214-0260
多摩営業所	〒192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	TEL	0426-20-5590
横浜営業所	〒222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	TEL	045-431-7786
静岡営業所	〒422-8046	静岡市駿河区中島2834-1	TEL	054-282-7012
さいたま営業所	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目19-4	TEL	048-666-2521
宇都宮営業所	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	TEL	028-656-8737
土浦営業所	〒315-0052	茨城県かすみがうら市下稲吉1628-4	TEL	0299-59-1005
前橋営業所	〒371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	TEL	027-234-5956
長野営業所	〒381-0043	長野市吉田5丁目24-16	TEL	026-244-3970
新潟営業所	〒950-0892	新潟市寺山3丁目32-12	TEL	025-275-5616
名古屋営業所	〒454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	TEL	052-362-2281
津営業所	〒514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	TEL	059-227-2716
岐阜営業所	〒500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	TEL	058-271-4015
金沢営業所	〒920-0016	石川県金沢市諸江町中丁344	TEL	076-237-1230
大阪営業所	〒556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	TEL	06-6561-8484
和歌山営業所	〒640-8482	和歌山市六十谷226-6 黒田コーポ	TEL	073-462-7277
京都営業所	〒601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	TEL	075-321-0141
姫路営業所	〒670-0974	兵庫県姫路市飯田2-88	TEL	0792-33-6838
松山営業所	〒790-0064	愛媛県松山市愛光町9-14	TEL	089-922-8886
高松営業所	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	TEL	087-843-1201
広島営業所	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL	082-849-2400
防府営業所	〒747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	TEL	0835-27-0575
岡山営業所	〒700-0965	岡山市西長瀬261-104	TEL	086-241-3013
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	TEL	092-411-9801
小倉営業所	〒803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	TEL	093-561-3422
諫早営業所	〒854-0066	長崎県諫早市久山町1785-5	TEL	0957-49-8857
大分営業所	〒870-0155	大分市高城南町7-13	TEL	097-552-1745
熊本営業所	〒862-0910	熊本市健軍本町7-17	TEL	096-365-0484
宮崎営業所	〒880-2112	宮崎市小松2399-6	TEL	0985-62-3612
鹿児島営業所	〒890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	TEL	099-257-6801

060619